



世界文化遺産国内推薦候補に決定 いよいよ世界の舞台へ

文化庁の文化審議会は、平成29年の世界文化遺産の登録を目指す「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群を、国内推薦候補として決定。現在、世界遺産への推薦は、1年に1カ国から1件とされ、今年も、本遺産の他、「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」「北海道・北東北を中心とした縄文遺産群」「百舌鳥・古市古墳群」の4件の中から選ばれました。

問い合わせ先
世界遺産登録推進室 ☎(62)2617



推薦決定に喜び報告会の参加者



島を守る宗像大社の神職

7月28日の文化庁の記者発表では、「古代祭祀跡がほぼ手付かずの状態に保存され、現代でも神聖な島として信仰の対象であることが、世界的に見ても顕著な事例」であることが、推薦理由の1つに挙げられました。

9月に日本政府が推薦遺産を決定した後、平成28年2月1日(月)までに政府が世界遺産センターへ本推薦書を提出。夏ごろに、ユネスコの諮問機関であるイコモス(国際記念物遺跡会議)

類いまれな価値

世界遺産とは、国や民族を超えて守るべき世界の宝物で、人類が共有すべき「顕著な普遍的価値」を持つものです。本遺産群は日本と大陸を渡る交流の中で、約1600年前に始まった沖ノ島での神への祈りが、宗像三女神への信仰として現代まで継承された過程を物語る、世界的に例のない遺産として価値があるとされています。

これまでの歩み	
平成14年	早稲田大学名誉教授の吉村作治さんが「九州から世界遺産を」と提唱し、「海の正倉院・沖ノ島〜いま甦る太古のロマン」と題するシンポジウムを実施
平成15年	沖ノ島物語実行委員会が、宗像大社神宝館で「海の正倉院・沖ノ島大国宝展」を開催(約32,000人が来場)
平成18年	市で世界遺産登録に関する部署を設置(1月)し、本格的な取り組みを開始。国に対し暫定リスト記載に向けた提案書を提出(11月)
平成21年	「宗像・沖ノ島と関連遺産群」が世界文化遺産暫定リストに記載(1月5日)。福岡県、宗像・福津市などで組織する「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議を発足(1月26日)
平成22年10月	市内コミュニティ、市民団体、産業団体で組織する「宗像・沖ノ島世界遺産市民の会」を発足
平成24年4月	本資産のガイダンス施設でもある、海の道むなかた館を開館
平成27年3月	資産名称を「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群に決定。文化庁に推薦書(案)、包括的保存管理計画(案)を提出
平成27年5月15日~同16日	青柳正規文化庁長官、西村幸夫日本イコモス国内委員会委員長による構成資産の視察、シンポジウムの開催
平成27年7月28日	文化庁の文化審議会で、国内推薦候補に決定

オガチマンスの今後のイベント

毎年9月をオガチマンス(世界遺産強調月間)として各種イベントを開催しています。

- 9月19日(土)~23日(水・祝)、26日(土)~27日(日) = **世界遺産無料ガイド**(宗像大社辺津宮境内、神宝館)
- 9月19日(土)、同22日(火・国民の休日) = 「はるかな島のものがたり」~おはなし会~
- 9月23日(水・祝) = **市民参加型ミュージカルむなかた三女神記「その昔、ここは神の里と呼ばれていた」**(宗像ユリックス・イベントホール)
- 9月26日(土)~10月3日(土) = **神迎え灯籠の道**(玄海コミセン~海の道むなかた館前の県道)
- 9月26日(土) = **期間限定** 二柱の女神に出会える島「大島ウォーキング&海岸清掃」

障がい者のトータルライフパートナー

利用者募集中!!

株式会社 ゆり庵

見学・相談受付中!!

障がい者グループホーム(介護サービス包括型)
ゆり庵「かりん邸」 H27.11.1に新築オープン!!

- ・宗像市稲本に7棟目のホームを新築オープン!!
- ・定員は7名、世話人は24時間365日対応。
- ・月額利用料は57,000円~(家賃・食費等)

お問合せ: 株式会社ゆり庵 Tel.0940-36-9138 (担当: 今奈良・白藤)

せき いつ ゆき
弁護士 関 五行 (福岡県弁護士会所属)
 弁護士法人向原・川上総合法律事務所

■相続 ■遺言 ■生前贈与 ■離婚
 につき、是非お気軽にご相談ください

初回1時間
相談無料

TEL:092-406-2399

事務所所在地: 福岡市中央区天神二丁目14-7 福岡証券ビル7階
 (ご相談内容等に応じて出張相談も承ります)

